

第2次隠岐の島町総合振興計画策定業務 公募型プロポーザル審査結果報告書

第2次隠岐の島町総合振興計画を策定にあたり、策定支援業務を委託するにふさわしい適正を備えた提案者を選定するための公募型プロポーザルを行った結果を以下のとおり報告します。

平成30年12月7日

第2次隠岐の島町総合振興計画策定業務 プロポーザル審査委員会

委員長 村上 勝

I. 審査結果

最優秀提案者 株式会社 エブリプラン

優秀提案者 株式会社 アテナ

II. 審査委員会の構成

役職	団体名等	氏名
委員長	隠岐の島町社会福祉協議会事務局長	村上 勝
副委員長	隠岐の島町 地域振興課 課長	佐々木 千明
委員	隠岐の島町婦人会 事務局長	堀川 竹子
委員	隠岐の島町まちづくり運動協議会 生活環境部長	齋藤 正幸
委員	隠岐の島町商工会 商工青年部長	稻葉 直行
委員	隠岐の島町教育委員会 教育委員	野津 幸恵
委員	隠岐の島町 観光課 課長	鳥井 登
委員	隠岐の島町 福祉課 課長	中林 真
委員	隠岐の島町 農林水産課 課長	藤川 芳人
委員	隠岐の島町教育委員会 総務学校教育課 課長	池田 茂良

III. 審査経過

以下の日程でプロポーザルを実施しました。

募集の公告 平成30年10月12日(金)

参加表明書の受付 平成30年10月12日(金)～平成30年10月26日(金)

一次審査結果発表(通知) 平成30年10月30日(火)

企画提案書の受付	平成 30 年 10 月 30 日(火)～平成 30 年 11 月 28 日(水)
二次審査（ヒアリング）	平成 30 年 12 月 7 日(金)
結果の通知（発送）	平成 30 年 12 月 14 日(金)

IV. 審査結果

1. 参加表明書の審査

(1) 参加表明者

参加表明書の提出者 2 者

(2) 参加資格確認

2 者から提出された参加表明書等について事務局において以下の参加資格要件及び適格要件を満たしているか内容を確認した。

- 1 地方自治法施行令第 167 条の 4 第 1 項の規程に該当しない者であること。
- 2 本町の「平成 29・30 年度 測量建設コンサルタント業務等競争入札有資格者」であること。
- 3 企画提案書の提出期限において、本町の指名停止期間中でないこと。
- 4 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）の規定による更生手続開始の申し立て、または民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）の規定による再生手続きの申立てがなされていない者（ただし、会社更生法の規定による更生計画認可又は民事再生法の規定による再生計画認可の決定を受けているものを除く。）であること。
- 5 暴力団による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団、同条第 6 号に規定する暴力団員である役職員を有する団体並びにそれらの利益となる活動を行う者でないこと。
- 6 国税及び地方税を滞納している者でないこと。
- 7 プロポーザルに参加しようとする他者との間に次に掲げるいずれかの関係が無いこと。
 - (ア) 親会社と子会社の関係
 - (イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係
 - (ウ) 一方の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている関係
 - (エ) 前 5 号と同視し得る資本関係又は人的関係
- 8 過去 10 年以内（平成 20 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日の間）において、官公庁発注の総合計画策定業務の委託完了実績を有すること。

(3) 参加資格の結果

参加資格要件及び適格要件を確認した結果、企画提案書提出者を以下の 2 社とした。

株式会社 アテナ

株式会社 エブリプラン

3. 二次審査

(1) 二次審査（主観的評価及びプレゼンテーション・ヒアリング）

提出された企画提案書を確認し、20分間のプレゼンテーションを求め、その後10分間程度の質疑応答を行った。

委員は提案内容の理解を深めるとともに、以下の評価要綱に基づき提案者の審査を行った。

審査項目と配点割合は、次のとおりで行った。

評価項目	評価点	評価基準
業務実績	15点	別表1
業務実施体制	10点	別表1
テーマ別企画提案書	50点	別表2
プレゼン等	10点	別表3
参考見積	15点	別表3

各評価項目の評価基準については、次のとおりで行った。

別表1

評価基準1

評価項目	評価の着眼点	評価及び評価点数				
		極めて良好	良好	普通	やや不十分	不十分
業務実績	受託業務の規模や内容を総合的に判断	15	12	9	6	3
業務実施体制	的確に業務を遂行できる体制や配置される従事者の実績・能力等の状況	10	8	6	4	2

別表2

評価基準2

評価項目	評価の着眼点	評価及び評価点数				
		極めて良好	良好	普通	やや不十分	不十分
企画提案書	テーマ1	的確性	5	4	3	2
		実現性	5	4	3	2
	テーマ2	的確性	5	4	3	1

		実現性	5	4	3	2	1
テーマ 3	的確性	5	4	3	2	1	
	実現性	5	4	3	2	1	
テーマ 4	的確性	5	4	3	2	1	
	実現性	5	4	3	2	1	
テーマ 5	的確性	5	4	3	2	1	
	実現性	5	4	3	2	1	

的確性：テーマに対し、的確な提案となっているか。

実現性：提案内容は、理論的であり、実現性があるか。

別表 3

評価基準 3

評価項目	評価の着眼点	評価及び評価点数				
		極めて良好	良好	普通	やや不十分	不十分
プレゼン等	分かりやすいプレゼンテーションとなっているか。能力の高さはうかがえるか。業務に対する熱意、わかり易さ、態度はどうか。質問内容を正確に把握できているか。回答は過不足なく、わかり易いか。	10	8	6	4	2
参考見積	業務コストの妥当性	15	12	9	6	3

(2)二次審査結果

プレゼンテーション・ヒアリング後、審査を行った結果以下のとおりとなった。

順位	企業名	評価点
1位	株式会社 エブリプラン	72.2
2位	株式会社 アテナ	—